

授業改善プロジェクトの達成目標

[目指す英語教師像]

良質の英語を使った授業を展開することができ(REAL English Teacher)、省察によって授業を改善する方法を身につけ(reflective practitioner)、新しい英語教育の創造に自ら積極的にコミットする英語教員(self-directed teacher)

[授業改善プロジェクトの達成目標と評価の観点]

1 教育的人間力

(教職に対する情熱、使命感、生徒に対する教育愛)

- 1) 授業をする楽しさを感じながら英語を教えることができ始めている。
- 2) 生徒理解が深まり、生徒との関係も今までと異なる新しい見方ができ始めている。
- 3) 授業の目標や手段や評価について深く考察する姿勢ができ始めている。
- 4) 職場の同僚と英語教育の問題点について気軽に話をするができる。
- 5) 地域や生徒の願いを踏まえて、授業改善に前向きに取り組むことができ始めている。

2 英語運用能力

(英語運用能力の向上とそれを生かした授業の実施)

- 1) 研修実施前より一般的な英語運用能力が向上している。
- 2) 自ら設定した英語力目標に対する具体的な取り組み方を理解し、継続することができている。
- 3) 授業中、最適なインプットを与えたり、生徒とインターアクションする割合が増えている。
- 4) 可能な限り授業で英語を使おうとする前向きな意識が形成されている。
- 5) 生涯にわたって英語運用能力の向上を図る意志ができている。

3 英語教授力

(教科指導に関する専門的知識と技能の向上)

- 1) アクションリサーチによる授業改善の方法を理解し、多少なりとも実践できている。
- 2) 課題としてあげた生徒の英語力に改善の兆しが見られる。
- 3) 課題としてあげた生徒の授業態度に改善の兆しが見られる。
- 4) リサーチをした領域についての専門的な知識が増えている。
- 5) 授業後、振り返り反省する習慣ができ、生徒による授業評価も改善の兆しが見られる。